

# しあわせ信州創造プラン 2.0

～学びと自治の力で拓く新時代～

---

## 長野県総合5か年計画

### 北アルプス地域計画

---

北アルプス地域      大町市、池田町、松川村、白馬村、小谷村



長野県北アルプス地域振興局

# しあわせ信州 創造プラン2.0の特色



特色  
1

「学びと自治の力」を  
推進エンジンとして政策を展開

特色  
2

中・長期的視点で  
「6つのチャレンジプロジェクト」に取り組む

特色  
3

これまで以上に地域重視の観点で  
「地域計画」を充実

特色  
4

「SDGs(持続可能な開発目標)」を意識

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS  
世界を変えるための17の目標



特色  
5

人口減少社会への対応を重視

特色  
6

「学ぶ県組織」へ転換

計画の位置付け

- ・概ね2030年の長野県の将来像を展望し、これを実現するための行動計画
- ・都道府県まち・ひと・しごと創生総合戦略
- ・計画期間は2018年度から2022年度までの5年間

SDGs(エス・ディー・ジーズ):2015年9月に国連で採択された「持続可能な開発のための2030年アジェンダ」に盛り込まれた17のゴールと169のターゲット。経済的な利潤の追求、貧困や差別などの根絶、地球環境の保全といった「経済・社会・環境の三側面」の向上をめざして、様々な主体が行動することが求められている。

# 北アルプス地域計画

北アルプス地域に「暮らす人」誰もが自信と誇りを持ち、  
「訪れる人」すべてが感動と喜びを実感できる地域をめざします

めざす姿の実現に向けて、様々な主体と連携しながら、  
**5つの重点政策**に取り組めます



1

北アルプスの恵みと  
人々の知恵を活かした  
産業の振興



2

四季折々に訪れ、  
北アルプスと安曇野の自然を  
満喫できる観光地域づくり

3

生涯を通じて健康で、  
安心・安全に暮らせる  
地域づくり



4

北アルプス地域を選び、  
生き生きと活動できる  
地域づくり



5

地域を支える  
松本糸魚川連絡道路の  
整備



# 今後5年間の「北アルプス地域重点政策」



## 1 北アルプスの恵みと人々の知恵を活かした産業の振興

### 農 業

競争力の高い米づくりを進めるとともに、地域の特性を活かした園芸作物の生産振興やブランド力の向上などにより、収益性の高い農業が営まれる地域をつくります。

#### 取り組み

##### 米生産の省力・低コスト化

- ICT※を活用した生産工程管理システムの導入促進
- 高密度播種育苗※や水田水位センサーの普及
- 用排水路の埋設や自動給水栓の設置

##### 付加価値の高い米づくり

- 酒米の高品質栽培技術の実証・普及や  
新品種「信交酒 545 号（山恵錦）※」の普及

##### 園芸作物の導入・生産拡大や地消地産※

- アスパラガスや加工・業務用野菜の生産拡大
- ワイン用ぶどう園の整備と生産の安定・高品質化
- 宿泊施設における地元農産物の利用拡大の支援

##### 地域特産物のブランド化

- 北アルプス山麓ブランドを活用した生産振興



高密度播種育苗による田植え



池田町のワイン用ぶどう園

#### 目 標



省力・低コスト技術の導入による  
水稲の栽培面積

35 ha (2017 年度) → 95 ha (2022 年度)



酒米「信交酒 545 号（山恵錦）」の  
栽培面積

6 ha (2017 年度) → 35 ha (2022 年度)



加工・業務用野菜の栽培面積

12.2 ha (2016 年度) → 20 ha (2022 年度)

ICT：情報通信技術。情報技術の「IT (Information Technology)」に通信の「C (Communications)」を組み合わせた用語。

高密度播種育苗：種籾を通常の 1.5 倍の密度で播種し育苗する技術。育苗日数を短縮でき、田植えに使用する苗箱数を減らすことでコスト削減や運搬労力の軽減につながる。

信交酒 545 号（山恵錦）：県農業試験場育成の酒米新品種（平成 30 年 6 月現在、品種登録出願公表中）。いもち病や冷害に強く、倒れにくさ等の特性に優れており、「美山錦」より大粒で心白の発現が良い。

地消地産：地域にある資源を活用して、地域で消費するものを地域で生産する取組。

## 林 業

地域の森林資源の特徴を活かし、林業がビジネス（生産された木材が売れる・使われる）として成り立つ仕組みづくりを進めます。

### 取り組み

#### 広葉樹林業のビジネス化

- 航空レーザ測量※による資源量（樹種・本数・太さ）把握技術の確立
- 木材生産の収益を試算するモデル事業の実施
- 資源量の把握技術やモデル事業の成果の普及

#### アカマツ（松くい虫被害材）の利用促進、健全な森林の育成

- 木質バイオマスとして活用する仕組みづくりの構築
- 移動式チップパー（破砕機）やチップヤードの整備支援
- 被害率の高い地域での更新伐※
- 未被害地への拡大防止のための樹種転換



広葉樹丸太の市場調査

### 目 標



民有林の広葉樹素材（木材）  
生産量

1,600 m<sup>3</sup>  
(2012～2016年の  
生産量から算出)



2,400 m<sup>3</sup>  
(2022年度)



民有林のアカマツ素材（木材）  
生産量

3,900 m<sup>3</sup>  
(2012～2016年の  
生産量から算出)



8,900 m<sup>3</sup>  
(2022年度)

航空レーザ測量：ドローンなどの航空機に搭載したレーザスキャナを用いて地形や樹木の状況を調べる測量方法。

更新伐：林内に自然に生えている広葉樹を育てる森林整備。

## 製 造 業

地域の強みを活かした製品開発や人材育成などの支援により、ものづくり地域としてのレベルアップをめざします。

### 取り組み

#### 地域の強みを活かした製品開発

- ヘルスツーリズム※関連製品の開発
- 産学官金の連携による推進協議会の設立

#### 技能継承・人材育成等の支援

- テクノ安曇野高瀬プロジェクト等の支援

#### 県支援策の普及

- 企業訪問や支援策普及セミナーの開催



テクノ安曇野高瀬プロジェクトの技能検定受験対策講座

### 目 標



製造業従業者一人当たり付加価値額

930 万円  
(2015年)



1,050 万円  
(2022年)

ヘルスツーリズム：自然豊かな地域を訪れ、そこにある自然、温泉や身体に優しい料理を味わい、心身ともに癒され、健康を回復・増進・保持する旅行。

## 2 四季折々に訪れ、北アルプスと安曇野の自然を満喫できる観光地域づくり

四季を通じて多くの観光客が訪れ、その誰もが安心して快適に時を過ごし、喜びと感動に満ちた体験ができる観光地をめざします。

### 取り組み

#### サイクルツーリズムの推進

- モデルコースの設定
- 自転車に配慮した道路環境の整備
- サイクルステーション※の設置等による受入環境の整備
- 日本海エリアや県内他圏域との連携

#### ユニバーサルツーリズム※、ヘルスツーリズム、体験型観光の推進

- 誰もが旅行を楽しめる受入環境の整備
- 健康づくり体験や農家民泊など体験型観光の充実

#### インバウンド※対応の促進

- 地域DMO※の設立支援

#### 登山道や街並み整備、山岳環境の保全

- 登山道の計画的な整備の支援
- 電線地中化を核とした白馬駅前の景観整備
- 高標高地への野生鳥獣の侵入状況や被害の把握、対策の検討



サイクルツーリズム



白馬村内で夕食を楽しむ外国人旅行者

### 目標



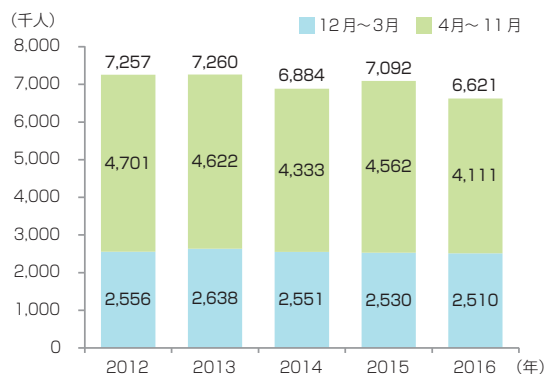
#### 観光地延利用者数

702万人 (2012～2016年の平均) → **724万人** (2022年)

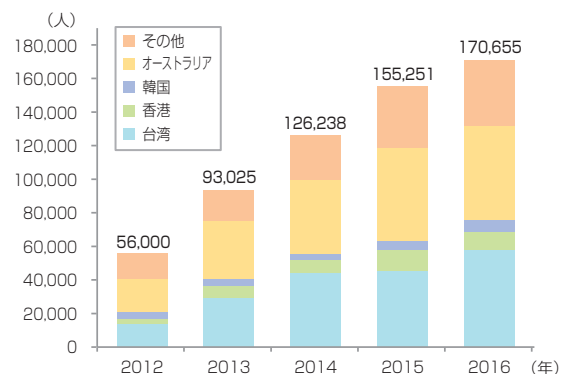
#### グリーンシーズン(4～11月)観光地利用者数

446万人 (2012～2016年の平均) → **468万人** (2022年)

#### 北アルプス地域のシーズン別延観光地利用者数



#### 北アルプス地域の外国人延宿泊者数



**サイクルステーション**：サイクリングの途中で立ち寄り、休憩や自転車の簡単な調整、周辺情報を入手できる施設。

**ユニバーサルツーリズム**：高齢や障がい等の有無にかかわらず、誰もが気兼ねなく参加できる旅行。

**インバウンド**：外国人の訪日旅行。

**地域DMO**：地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光地経営」の視点に立って、観光地域づくりを実現するための戦略を策定し、着実に実施するための調整機能を果たす法人。

### 3 生涯を通じて健康で、安心・安全に暮らせる地域づくり

#### 保健・医療・福祉

保健医療と福祉の充実により、暮らす人すべてが、住み慣れた環境の中で生涯を通じて健康で生き生きと暮らせる地域をめざします。

##### 取り組み

##### がん対策の推進

- あづみ病院の地域がん診療病院※指定
- がん診療研修会の開催

##### 医療・介護人材の確保

- 医学生や研修医を招いたセミナーの開催
- 首都圏での介護職希望者向け合同職場説明会の開催
- 高校生等に対する介護職場の魅力発信

##### 生活習慣病予防対策の推進（ACEプロジェクト※の推進）

- 運動指導者のスキルアップ等による運動習慣の定着促進
- 健診における健康上の課題の「見える化」
- 市町村、関係団体等が行う食育活動への支援



あづみ病院・通院治療室



運動習慣定着・促進講習会

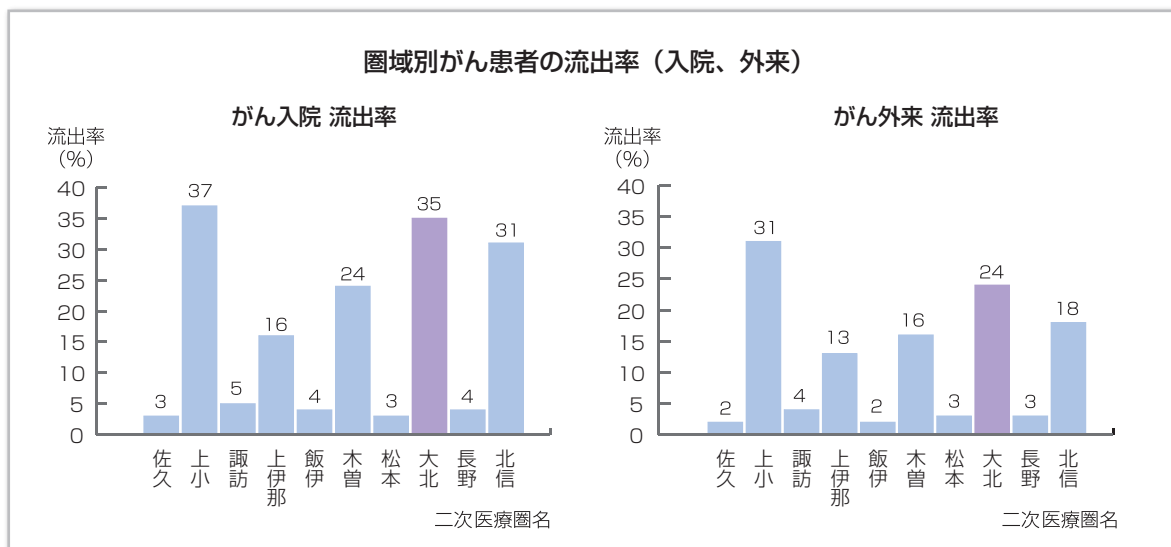
##### 目標



がん患者の大北医療圏からの  
流出状況

35% (入院)  
24% (外来)  
(2015年度)

31% (入院)  
21% (外来)  
(2022年度)



地域がん診療病院：緩和ケア、相談支援、地域連携等の基本的ながん診療を確保する役割を担い、都道府県の推薦を受けて国が指定する病院。

ACEプロジェクト：しあわせな暮らしの基礎となる県民の健康増進を図る運動。ACEは生活習慣改善の重点項目、Action(体を動かす)、Check(健診を受ける)、Eat(健康に食べる)を表す。

# 防 災

住民の力を活かした地域防災力の向上により、誰もが安心して暮らし、訪れる地域をつくります。

## 取り組み

### 住民の力を活かした地域防災力の向上

- 防災シンポジウム等を通じた防災意識の向上
- 災害時住民支え合いマップ\*や避難所運営マニュアルの策定・更新
- 自主防災組織\*の設置・活性化

### 観光地の防災対策の強化

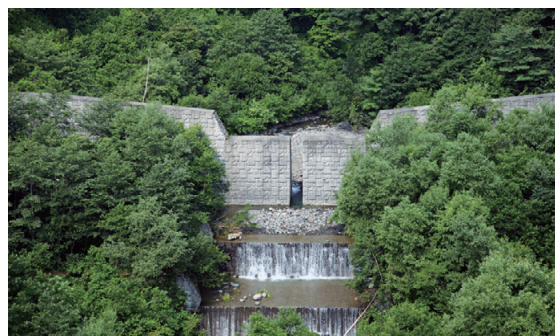
- 観光地の災害時における情報共有・伝達方法や避難対策の検討

### 砂防施設等の整備、緊急輸送路の防災機能の強化

- 砂防えん堤、地すべり防止施設等の計画的な整備
- 橋梁補修、道路防災工事等の計画的な実施



地域における避難所訓練



西親沢小谷村若栗砂防えん堤

## 目 標



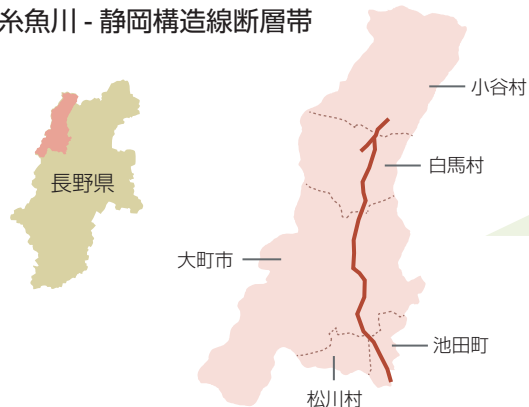
災害時住民支え合いマップ  
策定地区数

159 地区  
(2017 年度)



230 地区  
(2022 年度)

### 糸魚川 - 静岡構造線断層帯



北アルプス地域には糸魚川・静岡構造線断層帯が走っており、30 年以内の震度 6 弱以上の地震発生率は、池田町、松川村が 22%、大町市が 14%と推計されています。

※出典：地震ハザードステーション 2016 年版  
(防災科学技術研究所)

災害時住民支え合いマップ：災害時、避難に支援が必要な人と近隣の支援者や有資格者（看護師・介護士等）、避難場所や医療・福祉拠点などの社会資源等を表記した地図のこと。

自主防災組織：「自分たちの地域は自分たちで守る」という自覚、連帯感に基づき、自主的に結成する防災組織であり、災害による被害を予防、あるいは軽減するための活動を行う。

## 4 北アルプス地域を選び、生き生きと活動できる地域づくり

「暮らす人」誰もが自信と誇りを持ち、生き生きと暮らし活動できる仕組みづくりを通して、移住・Uターン・定住しやすい地域をめざします。

### 取り組み

#### 若者の定住・定着支援、地域を支える人材の確保

- 高等学校でのキャリア教育の充実
- Uターン就職の促進
- 若者が地域への愛着を深める機会の提供

#### 地域おこし協力隊員の定着支援

- 交流会・相談会等の開催による起業、就農等の支援
- 北アルプス地域サポーター※の設置

#### 北アルプス連携自立圏※と連携した移住・定住の推進

- 北アルプス地域での暮らし・働く魅力の発信

#### 外国籍住民が暮らしやすい環境整備の推進

- 市町村等が行う外国籍住民が安心して暮らせる相談体制や情報提供の充実への支援

#### 高齢者の社会参加の推進

- 活動の場を求めるシニアと活動の場を提供する団体等のマッチングの促進



地域おこし協力隊員の相談会



首都圏での移住セミナー



高齢者の福祉施設でのしめ縄づくり

### 目 標



移住者数

161人  
(2016年度)



224人  
(2022年度)

北アルプス地域サポーター：北アルプス地域の地域おこし協力隊の活動や任期終了後の定住を応援する個人や団体。隊員の起業や就農、日々の活動等に関する相談に応じる。

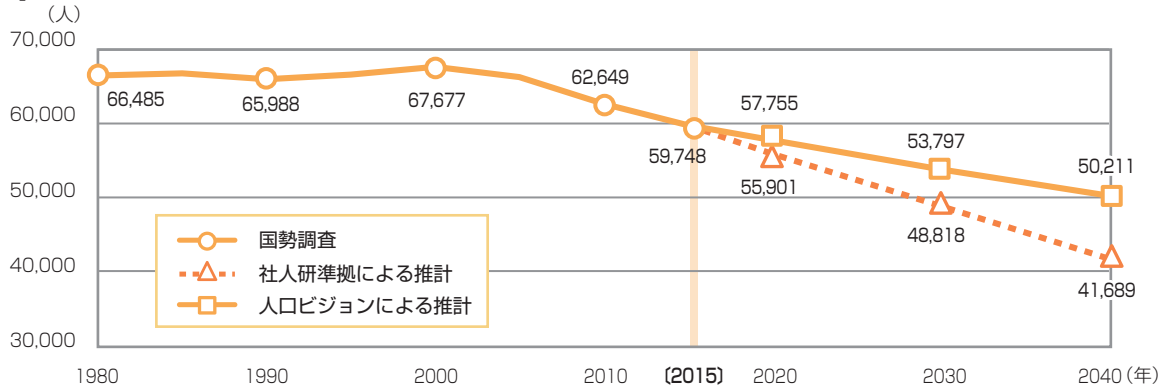
北アルプス連携自立圏：圏域5市町村が、地方自治法に基づく連携協約を締結し、移住交流や消費生活センターの運営などを連携・共同して実施。県では広域連携推進事業交付金等により取組を支援。



# 数字で見る北アルプス地域

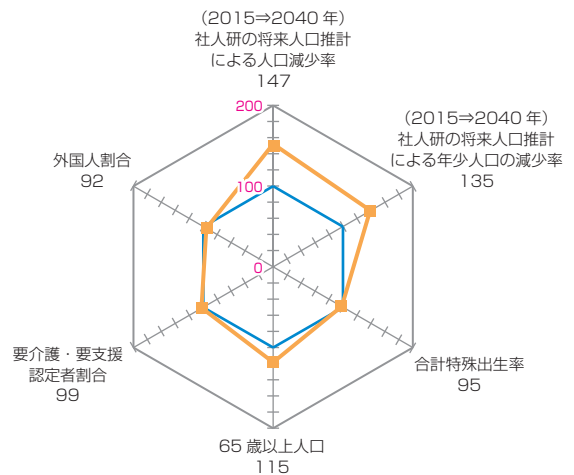
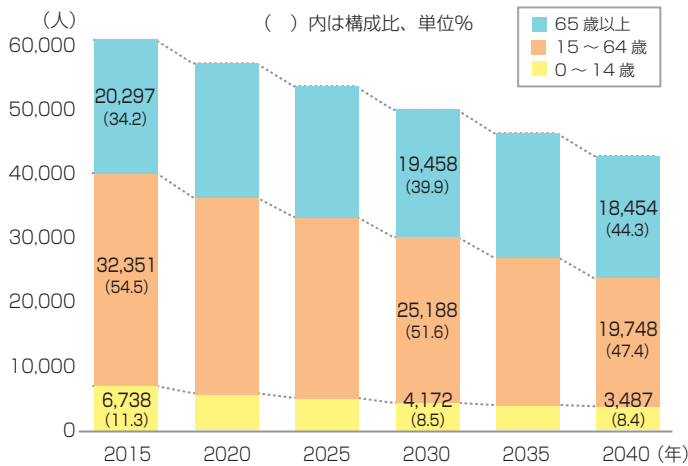
2040年には2015年の7割程度まで人口が減少する見込みです

【人口】



注) 2015年までは国勢調査(年齢不詳者を含む)、2020年以降は社人研準拠推計及び管内市町村の人口ビジョン(地方創生総合戦略)。

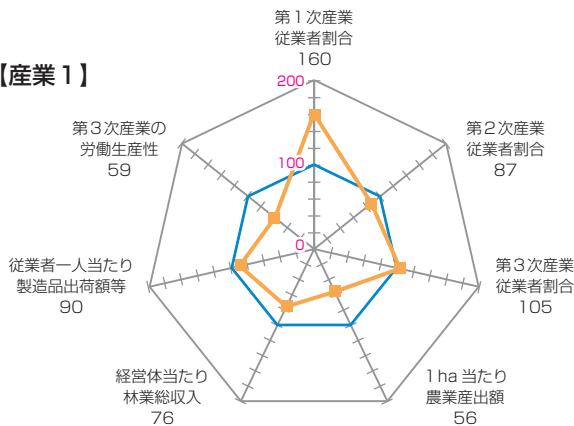
少子高齢化が県内でも速く進んでいる地域です



※県平均(100)と北アルプス地域との比較

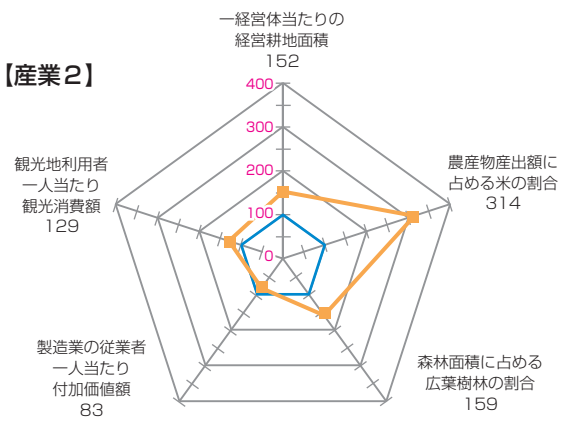
・米が主力作物で、広葉樹林(天然林)が多い地域です  
・観光客一人当たりの消費額は県平均を上回っています

【産業1】



※県平均(100)と北アルプス地域との比較

【産業2】



※県平均(100)と北アルプス地域との比較



しあわせ信州

## しあわせ信州創造プラン 2.0

### 北アルプス地域計画

長野県北アルプス地域振興局

〒398-8602 長野県大町市大町 1058-2

電話：0261-22-5111（代表）/0261-23-6501（直通）

Eメール：[kitachi-kikaku@pref.nagano.lg.jp](mailto:kitachi-kikaku@pref.nagano.lg.jp)